

平成 30 年 9 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 2 業種、昨年同等が 9 業種、悪化が 3 業種となり、全体の景況感 DI 値は 8 月と同様となった。

運輸業では仕事量が増加し売上が伸びたとの報告がある一方で、小売業では台風の影響により売上、客数ともに減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、原材料や燃料等のコスト上昇が続き、多くの業種で人手不足が問題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：30.0% DI 値：▲22.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：37.5% DI 値：▲25.0% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：10.0% 悪化：28.8% DI 値：▲18.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 30 年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲50.0	▲66.7	22.2	0.0	▲21.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
20.0	▲55.6	▲100	0.0	▲30.0	14.3	▲100.0	▲23.4	▲22.5
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	山口ゆめ花博での売上が期待されていたが、物販が少ないので菓子の販売は好調な様子。しかしブース料が高額なため、鳥取（宝製菓）からも出店している。新山口駅や空港への波及効果はまだ現れていない。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	雇用情勢は依然として厳しく、それにつれて賃金が上昇し、経営を圧迫している。	パン・菓子製造業 下関市
	先月に引き続き、売上は対前年同月比▲3.9%と減少幅が小さくなってきた。台風24号の影響により、29日（土）、30日（日）が開店休業状態となり大幅に売上が落ちた。この影響がなければ前年実績をクリアできていたので残念である。開業20周年に向けたリニューアル計画の構築を始め、役員会や臨時総会にて議論を始めた。	水産食料品製造業 萩市
	塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料の値上げがじわじわと影響している。度重なる台風などの影響で、消費が伸びない。豪雨の影響で物資の配送に大きく問題が起こり、想定外の配送料の増加が起こった。早くJRなどの復旧を願う。	水産食料品製造業 下関市
	台風が襲来するなど、天候リスクが例年にくらべ高かった。地球温暖化による気候変動により、予測できないような事態が起こっているため、豪雨対策を含め、これからは、本格的な検討が必要となる。また、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	9月4日に中国から外国人技能実習生4名が来日。現在63名。	下着類製造業
	相変わらず良くならない。	外衣・シャツ製造業 山口市
	工場の技術やクオリティにより、受注にかなりの差が出ている模様。また、少ロット、多工程の生産キャパの確保にメーカーも苦戦している様子。今後、企業努力で工場の技術、生産体制を構築し、付加価値を付けた工場については、需要が有りそうで売増が期待出来る。	外衣・シャツ製造業 萩市
	業況には特に変化なく、毎日の業務を消化している。あとは取引条件と収益状況が改善するよう努力していかなければならない。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	新築物件の受注は依然として少ないが、地区外に取引がある組合員は、ある程度の成績を上げている。	製材業・木製品製造業

印刷	受注が徐々に増え始めている。9月15日に印刷営業士認定試験を実施した。(組合員企業 11社、28名)	印刷
窯業・土石製品	9月の出荷量は (平成29年9月) 骨材126%、路盤材118%、再生材134% ↓ (平成30年9月) 骨材122%、路盤材153%、再生材92% 相変わらず公共工事はほとんどなく、民間だけでのいでいる状況。組合単価と実際に売っている値段の差額が大きすぎて、実際の売上高が把握しづらい。来年4月より、県内砕石業者の資材単価を値上げする予定。	砕石製造業
	出荷量は、前月比93%、前年同月比92%。平成30年度は前年度比約87%と厳しい見通しとなっている。4～8月の実績は対前年度92%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	先日、組合員が49歳で病気により他界した。入院時には同じ地域の組合員へ仕事の依頼をしていたとのこと。後継者問題もさることながら、いかに自分の健康管理をしっかりと行うかも新たな課題となった。個人事業所だと検診も疎かになりがちだが、全ての組合員の健康管理を充実させるべく、組合を通じて検診を徹底させたい。	石工品製造業
一般機器	萩市内萩焼小売店の売上は、対前年同月比で横ばいから若干の上向き。ギフト・卸関係・百貨店の受注は、10%程度減少。浅草アンテナショップの売上は、対前年同月比で約14%アップ。 9月17日～18日に山口ゆめ花博会場内多目的ドームで開催された「やまぐち産業維新展」に出展。ろくろ体験の指導や萩焼の展示即売を行った。入場者は多かったものの、ろくろ体験利用者や購入者は少なかった。	陶磁器・同関連製品製造業
	業界、組合員各社の業績は好調の様子。仕事量は多いが人材不足に悩まされている。	一般機械器具製造業 下松市
	前月と同様の推移をしており、全般的には変化なし。自動車関連は好調が続く。設備関係では、中国・東南アジアの注文が、年度内は順調。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等全ての職種で業績は好調。新たに自動車整備の職種での、外国人技能実習生の新規受入相談あり。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向	一般機械器具製造業 宇部市

	にある。大学卒の技能者の受入相談が増えてきている。介護の受入については、優秀な人材確保が必要となるので、慎重に対応しているが、相談は多い。来年4月の新制度の創設について、多くの企業から問い合わせがある。	
輸送機器	西日本豪雨により主要幹線道路が一部不通となり、特に鉄道車両部門において、資材の入荷遅れが発生。生産計画の見直しを実施。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	いりこが不漁で、在庫が少ない。	乾物卸売業
	魚、トレイ、ガソリン代が高騰しているが、販売価格に反映できていない。ふぐは徐々に値段が上がってきている。	生鮮・魚介卸売業
	休日も返上で操業している事業所もあれば、そうでない事業所もあり、一概には言えない。	各種商品卸売業
小売業	資生堂が、化粧品ブランド「ディシラ」の販売を終了することとなり、山口県の化粧品専門店の中には「ディシラ」を柱にしていた店もあったので、激震的な出来事となった。他ブランドに変更するなどして対応するようだが、既存顧客との関係性が築けているからこそできることであり、今までの店の努力の賜物である。	化粧品小売業
	災害が起きると小売商業は停滞するが、9月も台風の影響を受けることが多かった。豪雨災害の復旧が進んでいたが、台風により再び流通に障害が起こり、買い控えへとつながった。季節に左右される物販、飲食、サービス業は、急速な冷え込みで小売の現場に変化が見られるが、災害による物流の乱れ等もあり、売れ行きは思わしくなかった。歳末へ向けた販売計画に支障が出ないように、なんとか頑張りたい。	各種商品小売業 岩国市
	9月17日にイベントを開催。隣接する商店街も一緒にイベントをしており、日ごろより来客数が多かった模様。しかし、売上はやや厳しく、固定客だけでなくどう新規開拓をすれば良いかを考えることが重要。客が何を望んでいるかを商店街全体で考える時が来ているのではないだろうか。	各種商品小売業 山口市
	今月は連休が2回あった割に客の来店が少ないとの声があった。地区内在住の買い物客層が大半を占めており、高齢化等による購買力の低下を感じる。	各種商品小売業 下関市
	台風の影響もあり、売上、客数共に前年を下回る状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	燃料費等のコスト上昇や人手不足が改善されないまま、秋・冬物の時期となったが、まだ売上には結びつかず苦戦。イベント時には来街者数はあるものの、売上は伸びていない。店舗・業種によっては好調な店もあるが、限定される。いずれにしても個店	山口市

	の活性化が重要である。	
	不透明感と沈滞ムードは変わらず。組合員皆が不安を口にしている。	宇部市
	人の通りが少なく商店街に活気がない。新規出店予定がなくなった。秋のイベントに期待。	萩市
サービス業	涼しくなり、人出がある。カットやヘアダイなどが多い。午前中は忙しいが、売上は前年並み。	美容業
	気象変化等で依然として景気回復の兆しがなく、売上も減少傾向。	理容業
	いろいろな業種で人材不足が叫ばれている中、自動車整備業においても自動車整備士不足が深刻化してきており、国とともに高校訪問を行うなど、人材確保に力を入れている。しかし、高校生になってからでは遅すぎるとの声があり、20日、21日の2日間、近隣の中学生3名を迎え、整備体験学習を実施した。まず自動車に興味を持ってもらうことを優先し、将来整備士という仕事を選択してもらえよう環境を作っている。3名に話を聞くと、1名の生徒から「将来整備士になりたい」との発言があり、整備業界で働く者として励みとなった。	自動車整備業
	福岡県に比べ、山口県の人口減少率の高さを感じる。	スポーツ・健康教授業
	9月も暑い日が続き、家庭で洗濯出来るものの着用が増え、クリーニング需要が減少している。農繁期や台風の影響もあるのか、規模の大きい会社でも前年比20%減という話も出ている。業界全体として厳しい状況が続いている。	普通洗濯業
	台風の影響があり、昨年より売上が減少。	旅行業
	宿泊者数、売上とも前年並みで推移した。花博の効果は感じられない。	旅館業 山口市
	売上高の減少が続いている。天候の変化が著しく、防災情報が続いた。高齢者が外出を控える傾向にある。毎週のイベント等があり、施設利用者数が微増。	旅館業 長門市
	2週続けて3連休があり、大型学会が開かれた。また涼しくなったことにより観光客の出足も伸びた。	旅館業 下関市
	7、8月よりも天気は左右されなかったが、豪雨や台風の影響は免れない。街自体に花博の影響はさほどなさそうだが、関係者は忙しい。シルバーウィークもさほどではなかった。1年を通して暇になる時期ではある。最低賃金改正の影響が心配である。	飲食業
建設業	中電への工事申請136件（当支部分107件）、前年同月126件（同103件）。太陽光発電への申請32件（前年23件）オール電化申請74件（前年77件）。LED街路灯への切り替え・新規申請16件（前年12件）であった。	電気工事業

	平成24年頃迄の10数年に亘る不況の影響を受け、20数年前と比較して、①雇傭する技能者数が大幅に減少②完成工事高が半減している事業所が殆どである。給与の大幅な上昇と働き易い労働環境が求められる。	左官業
	公共工事発注のピークを迎え、仕事量は安定しているが、原油の高騰と人員不足が問題である。相変わらずの工事作業員不足に加え、交通誘導員（ガードマン）も高齢化により不足しており、事業者間で取り合いのようになることもある。	管工事業
	相次ぐ台風の影響や秋雨前線の停滞による長雨等の影響で、受注工事が消化出来ず、完成工事量は減少している。新築着工工事件数は、幾分持ち直してはいるが、前述の理由により売上高は横ばいあるいは減少気味である。加えて、職人不足が追い打ちをかけている。	屋根工事業
	先月で一旦落ち着き、職人にやや余裕が出た。先月は、年度末工事がずれ込み、年度末は落ち着く見通しだったが、遅れ気味の物件も3月末に完工するというので、来年1～3月は工程の遅れを取り戻すのに大変なことになる模様。9月に入って山口市の物件の入札が止めどなく出てきて、それらが全て3月工期になっており対応可能か疑問である。このような状態からも、年度末は大変な労働者の不足が予想される。新たな物件は、3月以降に工期変更になることを願うばかりである。	内装工事業
	相変わらず工事量が少ない。豪雨災害の影響で、中山間部の災害工事が発注されている様だが、工事量に対して、人手不足により受注できないかもしれないし、受注しても工事の完成が困難となるかもしれない状況。	土木工事業 柳井市
	先月に引き続き、豪雨災害復旧工事で忙しかった。	土木工事業 周南市
	受注高は、対前年同月比265.6%。今年度の累計は、対前年比237.0%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は、稼働日数減の為、収益が対前年同月比0.6%のマイナスとなった。相変わらずのドライバー不足と高齢化による長・中距離運行が不可の為、収益減少につながってきている。豪雨災害による広島方面の出荷減少も一つの原因とみられる。働き方改革では、中小零細運輸業の実態を今一度見識してほしい。油関係は0.7円の値下げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注は、対前年同月比で約6%増加した。業績は好転しているが、相変わらず乗務員不足に苦しむ。高値ながらも安定していた燃料費も上昇気味である。	一般貨物自動車運送業 防府市

	前年同月より売上は増加し、収益状況も良かった。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上高は、対前年同月比で6%減少。毎月減少している。固定客の減少・タクシー観光依頼の減少・自転車ロード設置によるタクシーの待合場所の減少等が影響している。	一般旅客自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比+4.7%（平成30年8月1日～平成30年9月20日分）。8月1日～31日分は+5.5%、9月1日～20日分は+3.4%。前年度が不調だった（▲5.5%）こともあるが、少し持ち直している模様。8月分について当組合の取扱地区別に見るとは、周南+10.3%、下松+9.8%、光+15.8%、防府▲2.4%で、組合員の全域では+8.4%、地区外（員外）▲29.8%で、合計+5.5%（+1,102千円）。防府市地区が減少し続けているのは、当組合に加入していない新興のタクシー事業者が低運賃で営業しており、それが既存のタクシー事業者（当組合組合員）の売上を減少させているためと推測される。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月582.5\$/トンが今月615.0\$/トン、前年480.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は（前月463.0\$/トンが今月457.0\$/トン、前年311.0\$/トン）。為替は円高（前月112.38円/\$が112.08円/\$）だが、燃料単価は前月よりさらに+2.6%増加。前年9月分に比べると+14.5%と高騰しており、タクシー事業者の収益は大変厳しくなっている。タクシー乗務員は慢性的に不足し、高齢化もあって実働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況が続いている。8月、9月と、前年比では回復しつつあるが、前々年度と比較すると、減少（▲1.1%）になっており、安定的に回復しているとまでは言えない状況。</p>	一般旅客自動車運送業 周南市
	今月の取扱高は、対前年同月比でほぼ同量。	港湾運送業
その他非製造業	千葉県及び福岡県の介護事業所が新規加入した。今後は山口県のみならず全国へ向けて情報を発信していきたい。	介護事業